

新年度のスタートに際して③

浜田小学校の職員として・・・

2019.04.04

No.62

校長 渡邊 幸二

2019（平成31）年度がスタートします。新年度のスタートというのは、いつも緊張と重圧と、わくわく感が入り混じった気分です。特に、新しくお出での先生方はなおさらそうでしょう。この適度な期待感は、年度初めの忙しさに身を任せ何となく過ごしてしまうとあっという間に流されてしまいます。そして、日々の忙しさに埋没・・・というサイクルに飲み込まれてしまいます。

目標の明確化

こんな新年度のスタートに是非お勧めしたいのは「**目標の明確化**」です。今年度自分が何をやるのか、どんなことに挑戦し、どんな結果・成果・姿になろうとしているのかをはっきりさせることです。経営者の本によく書かれているのは、それを何かにきちんと書き表すこと、できればそれを見える所に貼っておくことだそうです。そうやって自分自身にコミットする（どこかでのCMで聞いたセリフ？）、つまり目標達成に向けて責任を持って行動することが重要になります。私は仕事から学校経営方針を書いているので、それを机の見える所に置いたり貼ったり、またいつも持ち歩くようにしています。みなさんも、これから校務分掌上の運営方針や具体的に何をやるのか、また担任であれば学級経営方針、すべての人にとって人事評価シート（業績）を書くと思います。それらを自分のノートに貼る、ファイリングしていつもカバンに入れておくのもいいでしょう。でも一番良いと思うのは、自分のやろうと考えていたことを実践し、それを学級通信などで発信していくことだと思います。世間ではそれを「**アカウンタビリティ**」と言っていますが、おたよりなどでくり返し説明していくことが、自分の目標をより深く理解することになるのです。これも「**見える化プロジェクト**」と言えるでしょう。

